



人生ゲーム

ゲーム「フォートナイト」が流行する中、神町中学校の片桐瑠香さん（2年）は、姉と「人生ゲーム」に興じていた。瑠香さんは、「時間がゆったりと流れる感じで心が落ち着きました。」と人生ゲームの感想を話してくれた。暇をもてあましてある中学生にとっては、行動が変わる大きなチャンスなのかもしれない。テレビやゲームも飽きて何もやることがなくなり、「ついに家の手伝いを始めた」「何と本を読み始めた」「まさか勉強を始めた」など、数多くの怪奇現象今まで見ることのなかった現象が報告されている。こんな時だからこそアナログのボードゲームのように、初心に帰ってゆっくりと、今まで見ることのできなかった景色をながめるのもいいのかもしれない。

山形新聞 少年少女の声（4月14日より）

休校の日々 いいことも

2年 遠藤 悠翔

新型コロナウイルスの影響により、全国の小中学校が休みになった。その生活の中で感じた事が2つあった。

1つ目は、新型コロナウイルスにたくさんの人が感染していることだ。新型コロナウイルスは都市部を中心に、全国に広がっている。ただ、こんなウィルスごときと思いたいが、人間は対策ができていない。今現在、地球はさまざまな問題を抱えているのにもかかわらず、小さなウィルスにすら勝てない。これもまた、地球規模の大問題だと思う。2つ目は、生活への影響である。オリンピックの延期が決定した。また、卒業式の規模が縮小されたり、なくなったりした。しかし、悪いことばかりではない。学校が休みになり、自分の時間が増えたため、初心に帰ることができた。例えば弟に野球の練習を付き合ってもらうことで弟に感謝したり、改めて野球は楽しいと思えたことだ。初心に帰ることができ、毎日新鮮でたくさんのことを学んでいる。

また、友達と会えないことにより、久しぶりに会ったときのうれしさも倍増した。コロナウィルスの影響で、世の中の変化も感じる。具体的な例をあげると、電子機器を使うことだ。ユーチューブでは、学校に行けない子どもたちのために動画をあげている人たちがいる。また、テレビ電話によって仕事を進めるなど、人間をつなぐ電子機器の役割が大きくなっていると思う。

こういうときこそ、地球という星に住んでいる私たち全員が、協力して乗り越えていく必要があるのだと思う。



PTA 評議員会

一昨日、PTA 評議員会が行われ、PTA 3役、学年、専門部の新役員が選出されました。3年生の評議員の方々からは、今後の受験の在り方や学習に対する不安などが出されました。学校としてもマメールやホームページ等を利用して多くの情報を提供するとともに、学習面での不安を解消できるように努めていきたいと考えています。今年1年、よろしくお願いします。